

1市1町地域医療センターに新たな医師派遣システム構築

《 1市1町地域医療センターに千葉大学医学部附属 病院九十九里地域臨床教育センター(仮称)を併設 》

平成21年12月21日
東金市・九十九里町

1市1町地域医療センターの医師確保については、医療機能の詳細検討が進む中、8月以降、1市1町と平澤センター長候補者、千葉大学医学部および同附属病院で、その方策を検討してきた。

このたび、1市1町地域医療センターに併設する形で、千葉大学医学部附属病院九十九里地域臨床教育センター(仮称)を設け、臨床教育センターの医師(教授、准教授等)が地域医療センター内において、臨床教育と診療にあたる新たな枠組みによる医師派遣の方針がまとまった。

これは、これまでの県内の公立病院に対する千葉大学からの医師派遣システムと全く異なるスキームで、全国的にも筑波大学と水戸協同病院の提携に次いで2例目である。

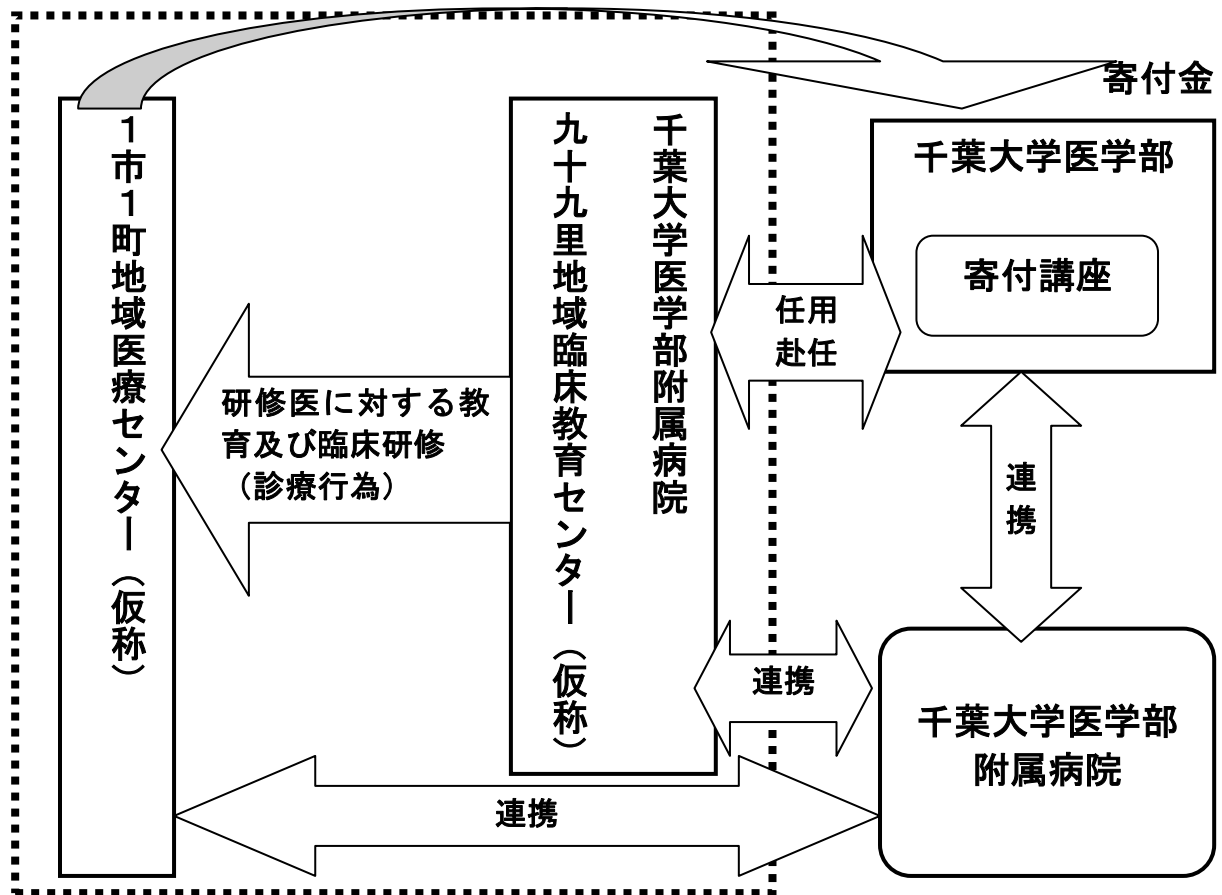
■ 概 要

- 地域医療センターは、千葉大学医学部内に寄附講座を開設してもらい、臨床教育センターに勤務する医師の人件費等の資金を提供する。
- 千葉大学医学部は、一定の資格を有する医師に、教授、准教授、講師などの称号を付与したうえで、千葉大学医学部附属病院九十九里地域臨床教育センター(仮称)に配属する。
- これらの医師は、臨床教育センターで初期研修医、後期研修医等の臨床教育に従事するとともに、医療センターの各診療領域における診療に従事する。

■ 地域医療センターの機能・規模

- 診療科 22診療科
- 病床数 314床(救命救急センター併設)
 - 開院初年度 146床(救命救急センター20床を含む)
 - 開院2年目 230床
 - 開院3年目 314床
- 医師数 開院初年度 30人(後期研修医を含む)
(常勤) 開院2年目 42人(後期研修医を含む)
開院3年目 56人(後期研修医を含む)

「九十九里地域臨床教育センター(仮称)」計画(案)イメージ



【地域医療センターのメリット】

この取り組みは、地域医療センターにとって、医師確保の不安の一部を払拭し、かつ優秀でモチベーションの高い人材を確保することが可能となる。

【千葉大学医学部および同附属病院のメリット】

千葉大学医学部および同附属病院にとっては、初期研修、後期研修に関して附属病院と地域医療センターの間で役割分担を行うことができ、それによって幅広い研修が可能となる。また、そのことにより初期研修医のマッチング率の向上や後期研修希望者の増加が期待できるものである。